

(参考4)

ジニトロトルエン 6 種類の標準測定分析法 (ばく露実態調査で採用した方法)

構造式: $(\text{CH}_3)_2\text{C}_6\text{H}_3\text{NO}_2$	分子量: 182.14	CASNo: 25321-14-6
許容濃度等: ACGIH 0.2mg/m ³ (混合物質として) 日本産業衛生学会 設定なし OSHA 設定なし NIOSH 設定なし	物性等 比重: 1.32 沸点: 250~300°C (分解する) 融点: 54~71°C 蒸気圧: 2.4Pa (20°C)	
混合物質名 2,4-DNT、2,3-DNT、2,6-DNT、2,5-DNT、3,4-DNT、3,5-DNT		
サンプリング	分析	
サンプラー : グラスファイバーろ紙とテナックス樹脂 (100/50mg) (JISHA 大阪改良) サンプリング流量 : 0.2L/min サンプリング時間 : 480min(ばく露濃度) 採気量 : 96L 保存性 : サンプラーに添加保存した場合、添加より7日間まで冷蔵保存で変化なし (アルミホイル包装)。 ブランク : 検出せず	分析方法 : ガスクロマトグラフ/FID 法 (機器名 : Agilent HP6890) 脱着方法 : アセトン 1mL で 60min 静置 (内部標準物質アニリン) カラム : Ultra Alloy (無極性カラム) (全長 15m × 内径 0.25mm × 膜厚 0.25µm) 温度-注入口 : 300°C 検出器 : 300°C FID カラム温度 : 100°C (5 min) → 10°C/min → 200°C 導入量 : 2µL キャリアガス : He ₂ 3.0mL/min 検量線 : アセトンで調製 100µg/mL まで直線性確認	
精度		
脱着率 1. 直接添加法 48µg/mL を 2µl 添加、1 mL のアセトンで脱着 脱着率: テナックス樹脂 99% グラスファイバーろ紙 91%		
定量下限 0.05µg/mL (脱着液 1 mL で) 0.52µg/m ³ (採気量 96Ll として 8 時間曝露)		
適用 : ポンプによる吸引法		
妨害 :		
参考 : US Army Corps of Engineers , Engineer Research & Development Center Technical Report ERDC TR-01-5、 JISHA マニュアル		

※本方法は、各種文献を参照の上、中央労働災害防止協会にて策定したものである。